

せんだん

下川口小学校 令和5年 2月28日(火)23号

教育目標 『かしこく ゆたかに たくましく』

【植樹体験をしました】

2月22日(水)に、四万十森林管理署の主催で、「コウヨウザン里帰り記念植樹」に行ってきました。土佐清水市の今ノ山付近で採れたコウヨウザンの種を安芸市で育てて苗木にし、また土佐清水に植えるということで「里帰り」なのだそうです。

ちょうど5年生は社会科の授業で「森林のはたらき」について勉強していたところだったので、今回の植樹体験はまさにタイムリーだったわけです。

今回は、植樹だけでなく木の枝を使ったキーホルダー作りもさせていただきました。そして6年生の3名はドローンの操縦にも挑戦させてもらいました。

移動時間を除くと1時間程度の短い時間でしたが、とても楽しく有意義な時間になりました。

四万十森林管理署のみなさん、関係職員の方々、藤の川・鳥淵区長さん、どうもありがとうございました。

【四万十森林管理署の方々にお手紙を書きました】

四万十森林管理署のみなさんへ

5年 内原 希歩

植樹体験をさせていただき、ありがとうございました。

私は、コウヨウザンを植えた時に土の中にたくさん根があって、ほりおこすのも固くて持ち上げることができませんでした。その時に森林管理署の方がぬいてくれたのでとても助かりました。みんなで協力して全て植えることができました。

私は、社会の時間に森林の役割について学びました。森林は高知県の80%(八割)だったので、植樹体験をしたことで少しでも増やすことが出来たと思います。森林がないと、土砂くずれが起きたり川がきたなくなったりするので、植樹で少しでも守ることが出来たと思います。

私の父と祖父は大工をしているので木がたくさん必要になります。だから木を植えてそれを家に使うことが出来るので、木は大切だなと思いました。十年後くらいに様子を見に行きたいと思います。

「木」にはいろいろな役割があります。家や家具などを作る材木としてはもちろんですが、土砂崩れを防いだり、濁水や洪水を緩和する、二酸化炭素を吸収する、野鳥の生息の場になる等々…とても大切な役割をいくつも持っています。

今回の植樹は、十年、二十年後にきっと役に立っていることでしょう。

希歩ちゃん、十年後には運転免許も取っているだろうから、是非見に行ってみてくださいね。



記念標柱
下川口小の名前も

写真を撮っている高知新聞の記者さんを撮りました(笑)



キーホルダー作りをしているところです。一生懸命絵を描いている子ども達。見守る大人達。

児童一人に大人一人がついて植樹のお手伝いをしてくださいました。

見えにくいですが、ドローンが飛んでいますよ!

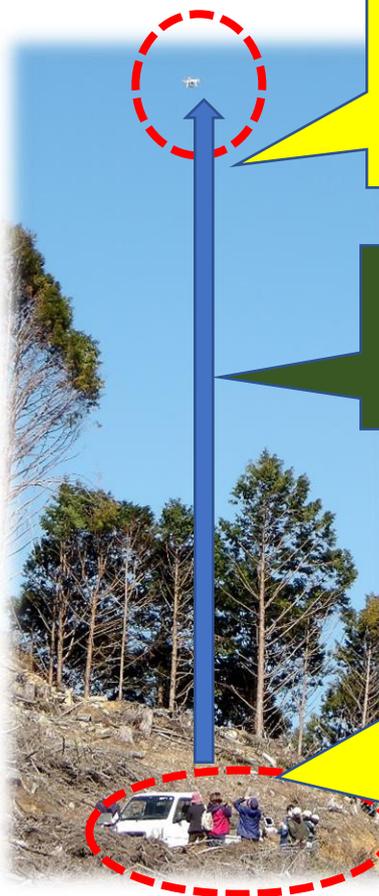


一番高く飛ばした時で、およそ100m上空でした。

職員の方からドローンの操縦の仕方を習っている6年生。



ここで6年生がドローンを操縦していますよ!!



この日のために、2週間くらい前からずっと天気予報を気にして下さっていた四万十森林管理署の署長さん。当日も職員の方々に、子ども達が困らないよう色々指示をしてくれていました。土佐清水で採れた種なので、何としてでも土佐清水の山に帰して育てたい...という熱い思いも聞かせていただきました。雲一つない爽やかなお天気のもとで実施できたことをとても喜んでくれていました。

下川口小の子ども達は、話を聞く態度もよく、どの子も一生懸命作業していたのでたくさん褒めていただきました。小規模校のよさでしょうか。こういう行事に全校児童で参加できるのも嬉しいことです。